



栄光の未来

R6.3.18

第22号

後期終了！成長を来年度につなげよう

卒業式が終わってからの約2週間は、1・2年生だけの学校生活となりました。そして、今日は後期終業式。1年間の締めくくりの日を迎えました。

個人として、またそれぞれの学年として、学校生活の様々なことに頑張ってきた1年間ではなかったかと思えます。そして、

3年生のいないこの2週間で、2年生は最高学年に、1年生は中堅学年になるという意識と自覚が少しずつ高まってきたのではないのでしょうか。



「総合発表会」(左：1年生、右：2年生) 学習の成果を、堂々と仲間に発表！

今日は令和5年度のゴールの日であるとともに、令和6年度のスタートにつながる日でもあります。終業式で代表生徒が振り返りを述べてくれたように、皆さん全員が自分の1年間に振り返り、成長した自分を認めるとともに、新たな課題を意識して、明日からの春休み、そして来年度を迎えましょう。

東石山中では、毎年クラス替えを行います。つまり、来年度は新しいクラスで新たな仲間とともに学び、生活し、ともに成長していくことになります。不安がある人もいるかもしれませんが、それ以上に新たに出会う間と一緒に成長する集団をつくっていくのだという決意と期待感をもって、気持ちも含めた準備をしていきましょう。明日からの春休みが、健康で充実した毎日となることを願っています。

令和6年度は、とことん「挑戦」する年に！

日本初の民間企業によるロケット打ち上げが行われ、残念ながら発射直後に爆発するという結果に終わりました。その後、開発を手がけたベンチャー企業「スペースワン」の豊田正和社長が、会見で次のように述べていました。



「スペースワンとしては、失敗という言葉は使いません。なぜかと言うと、一つ一つの試みの中に新しいデータがあり、経験があり、それらが全て、今後の新しい挑戦へ向けての糧だと考えております。私どもはこれで諦めるつもりは全くございません。」

豊田社長のこの言葉にとっても感動するとともに、東石山中がこれから目指していく姿に通じるものを感じました。それは、「挑戦」「諦めない」という言葉に集約されています。



生徒にとってよりよい学校をつくる歩みは、止めてはならないものです。そのためには、困難を承知で挑戦することがたくさん出てきます。うまくいかないことも多くあるはずですが、しかし、東石山中は簡単には諦めない学校でありたいと思っています。生徒・教職員ともに、高みを目指して粘り強く挑戦を続け、自分たちが誇りに思う、そして地域から愛される学校をつくっていきたいと思います。

来年度は、ワクワク感をもって粘り強く挑戦する皆さんの姿が今年度以上に多く見られることを期待しています。生徒の皆さんのもつ力と可能性は無限です。一緒に頑張っていきましょう！